

〈セミナーのご案内〉

● 今回メールニュースのみのご案内ですので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 184 (通算 495 回)

2011 年 4 月 27 日 (水)

学修の質保証に向けた検証と進化——

学士課程教育の改革シナリオと教学運営

～北海道大学の 15 年余の取組みを踏まえて～

- ※ 教育・履修システムの進化～AP・DPの明示、教育課程の体系化、単位制度の実質化
教育方法の改善／成績評価の適正化～評価基準ガイドライン、GPA・CAP制と運用
- ※ 学修支援の進化～履修相談等／FD活動の進化～全学FD、TA研修会、シラバスコンクール等
- ※ データに基づく教育改善(IRによる成果)～教員の教育力と学生の学習力へのインパクト

● 講師 ●

安藤 厚 氏 / (国) 北海道大学 名誉教授
前 高等教育機能開発総合センター・高等教育開発研究部長

2011 年 4 月 27 日 (水) 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日 時 : 2011 年 4 月 27 日 (水) 13:00～16:45
会 場 : 剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362
アクセス : 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
麹町口より徒歩 10 分
※会場の地図及び受講証を送付しますので
必ずご確認ください。

参加費 : A. ご一名 (資料代込)
36,000 円 (消費税込)
B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
37,000 円 (送料、消費税込)
※参加費の払い戻しは致しません。
申込者の都合が悪いときには、代理の方
がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ
FAX または E-mail にてご送付ください。
支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660
口座名 <(株) 地域科学研究会 >
※ご請求なき場合は振込受領書を領収書
に代えさせていただきます。
申 込 先 : 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel: 03(3234)1231 / Fax : 03(3234)4993
E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
URL : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 184

2011 年 4 月 日

学士課程教育の改革シナリオと教学運営

当日参加 メディア参加
(に 印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 〽 14:30	<p>I. 北海道大学の教育改革の歩み ～ホップ・ステップ・ジャンプの概況～</p> <p>II. 教育・履修システムの進化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入学者受入れ方針（A P）の明示 2. 教育課程（カリキュラム）の体系化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部一貫の教育課程 (2) 全学共通の全学教育科目 3. 単位制度の実質化 <ol style="list-style-type: none"> (1) シラバスの充実とコンクール (2) 授業外の自主学習の強化 4. 成績評価の適正化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 成績評価基準のガイドライン (2) G P A制度とその運用 (3) 自由設計科目制度とその運用 (4) C A P制度とその運用 5. 教育方法の改善 <ol style="list-style-type: none"> (1) 能動的・体験型学習 (2) 双方向型授業 6. 学位授与方針（D P）の明示
14:40 〽 16:10	<p>III. 学修支援の進化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 履修相談会MANA V I 2. 修学指導 3. 学習サポート 4. ピアサポート <p>IV. F D活動の進化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学F D（教育ワークショップ） 2. 全学教育T A研修会 3. クリッカー・LMS 4. シラバスコンクール <p>V. データに基づく教育改善（I Rによる成果） ～教員の教育力と学生の学習力へのインパクト～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 履修登録単位数上限設定（C A P制） 2. 全学教育のクラス数・履修者数 3. 附属図書館の利用数 4. 1年次のG P A平均 5. 成績分布 6. 自習時間 7. 授業評価アンケート総合点 8. 学生調査
～コーヒーブレイク～	
16:20 〽 16:45	<p>VI. 質疑応答とディスカッション</p>